

市立病院だより



～ 少子高齢社会は本当に暗い社会なのでしょうか ～ 病院管理者 武富 章

新聞やテレビでは「2025年問題」とか「少子高齢化」とか「人口減少社会」などといった暗そうなイメージの言葉が飛び交っています。結局、2025年には何が起ころのでしょうか。

日本において第二次世界大戦直後の1947（昭和22）年から1949（昭和24）年に生まれた人たちのことを「団塊の世代」といいます。これらの人たちは2025年には全員75歳以上となります。75歳以上になると要介護状態になる可能性が急に高まってきます。そのため、医療や介護の必要量が増加し、介護施設や在宅医療の提供量が不足するのではないかと、下の世代だけで支えることが困難になるのではないかと、といった不安の声が渦巻いているというわけです。

昨年の統計によれば、日本人の平均寿命は女性が87.14歳、男性が80.75歳であり、最高値を毎年更新しています。これを悲観的にとらえるか、楽観的にとらえるか。周囲を見回すと、90歳を過ぎても元気に地域の世話人として働いておられる方が相当数いらっしゃることに気づきます。私が医者になった34年前と比べて、明らかに高齢者の方々は元気になっていると感じます。

介護職員が不足する世の中では介護ロボットが活躍するでしょうし、重病で医療機関に通院することができない場合にはテレビ電話で診療する時代がすぐそこまで来ています。お薬はドローンがお宅まで届けることとなります。一人暮らしで寂しいときにはアイボのような犬型ロボットが相手をしてくれるかもしれません。買い物に行くときには自動運転の自動車どうぞ、という感じでしょうか。皆さんは「まさか、そんなことは起こりっこない」と思いますか？

現在、さまざまな分野でイノベーション（技術革新）が起こっています。スマホの先導者であったiPhoneが発表されたのが10年前です。普及までにはまだ時間がかかると思われていましたが、あれよあれよという間に携帯電話の市場はスマホに席卷されてしまいました。

暗い顔をしていても始まりません。医療や介護の分野において、どんなイノベーションが起ころのか、期待したいものです。

飯塚市5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会を開催しました

地域医療連携室 係長 鈴木 徹



11月9日（木）、「平成29年度第1回5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会」が院内の会議室で行われました。平成28年度には既に2回実施され、今回が3回目の開催となります。これは、飯塚医師会が中心となり進めている取り組みで、“地域医療・在宅福祉の充実”と“継続性のある医療・介護サービスの提供”を目的に、近隣の3市町村（飯塚市・嘉麻市・桂川町）を5ブロックに分け、実現に向けて、地区単位ごとに協議するものです。多職種・多機関が連携を図ることで、地域における包括的なケアを推進すべく、どのような取り組みを行うべきかを話し

合う会議です。会議には院内外から、行政、医師、歯科医師、看護師、保健師、薬剤師、リハビリ技士、ケアマネージャー、ソーシャルワーカー、民生委員など、多職種にわたる人々が約100人集まり、活発な意見が交わされていました。医療や介護の現場で実際に感じた貴重な意見が多く出され、非常に有意義な会議であったと思います。



訪問看護室の紹介

訪問看護室 看護師 青柳 美奈



私たち訪問看護師の役目は、病気を持ちながらであっても、ご自宅で自分らしく生活が送れるようにご支援することです。健康状態の観察と助言、日常生活の支援、リハビリテーションのほか、検査・治療促進のための介助、療養環境改善のアドバイスもしています。また、在宅介護をされているご家族への支援なども含め、担当医師や関係機関と相談しながら看護を行っています。訪問看護は、介護保険から行われる場合と医療保険から行われる場合の二つがあります。要介護認定を受けているか、医療ニーズの高さはどうなのかなどの要因により、どちらの保険を使うのかは異なります。このような制度の違いについてもご説明したうえで訪問看護を行います。超高齢化社会に伴い、現在の日本の現状



として急性期疾患の治療を行う一般病院では、できるだけ短時間に集中的な治療を行って退院していただくことが求められています。このことから入院医療の延長としての在宅医療がとても重要となってきています。私たちは、当院に外来通院中または退院される予定の方を対象として、健康状態の観察、中心静脈栄養法の管理、医療機器の取り扱い指導、床ずれの処置、内服管理などを内容とする訪問看護を行っています。（ただし、当院医師が主治医で、当院より自宅までの距離が15km以内の方に限らせていただきます）。

訪問看護をご利用になりたい場合は、入院中の方は主治医または病棟師長へ、外来通院中の方は主治医へお申し出ください。



筑豊の石炭王 伊藤伝右衛門の生誕の地と言えおわかりになるでしょうか？

リハビリテーション室 室長 理学療法士 宇佐波政輝



飯塚市立病院は回復期・地域包括病棟各々50床を含む計250床の病院です。H27年1月に新病棟が完成し、旧病棟の整備やリハビリ棟の耐震工事等を経てH29年3月にグランドオープンとなりました。リハビリ棟は耐震工事に加え、診察室・評価室の増設、連絡通路の新設、屋外には歩行練習用のスロープや園芸コーナー等の新設を行いました。

リハスタッフはPT・OT・ST合わせて47名。患者様の在宅・職場復帰を目指し、日々リハビリを提供しています。急性期からのリハビリ介入に加え、回復期病棟では、週5日「離床活動」と称してデイルームで季節を感じられる作品などの創作を行ったり、今回新設した園芸コーナーに患者様と花や野菜を植え、そこで収穫された野菜などを患者様の調理練習などに使ったりしています。



入院患者様だけでなく地域住民の方にもリハビリテーション科を知ってもらえるように「健康支援プロジェクト」と題して毎月最終土曜日に、運動指導や転倒予防などの講義・実演を行っています。今後も、患者様や地域住民の方に貢献できるようにスタッフ一同頑張っていきます。

～野菜たっぷりヘルシープチバイキング開催～

栄養管理室 管理栄養士 堤 千和



9月9日（土）当院糖尿病患者会「あかね会」の恒例行事「研修会と秋のお食事会」を開催しました。はじめに内科部長出口医師による「サプリメントについて」糖尿病認定看護師の益坂師長による「運動療法の効果」の講義とDVDを見ながら糖尿病体操の実技がありました。その後は「野菜たっぷりヘルシープチバイキング」として約18種類のお料理の中から好きなものを選んで頂きました。料理の約半分は野菜料理とし、1回分の分量をカロリー表示、栄養素別に色分けし栄養バランスにも配慮しました。全種類（デザート付き）食べても約650kcalと低カロリーに。通常バイキングは高カロリーなものが多いですが、安心して食べて頂けるように設定しました。

食後はコーヒーを頂きながら新規会員の方の自己紹介など終始和やかな雰囲気で行うことが出来ました。

当院の「糖尿病患者会あかね会」は糖尿病だけでなく、がん、認知症の予防や災害時の対応なども視野に入れた活動を行っています。皆さんも仲間になりませんか？



飯塚市立病院外来担当表

2017年11月1日現在

診療科	受付時間	診察室	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内科	午前 8:20-11:30	15	(新患2) 長澤 滋裕	(新患1) 赤星 和明	(新患1) 長澤 滋裕	(新患2) 園田 知丈	(新患1) 花野 貴幸	交代で1名
		16	(新患1) 松尾 隆	呼吸器 内科医師	(新患2) 松尾 隆 (第1,3,5週) 花野 貴幸 (第2,4週)	(新患1) 宮崎 修	(新患2) 赤星 和明	
		17	膠原病 内科医師	武富 章	武富 章	循環器 内科医師	出口 智弘	
		18	園田 知丈	循環器 内科医師	膠原病 内科医師	循環器 内科医師	長澤 滋裕	
		19	古賀 康秀	(新患2) 宮崎 修	血液 内科医師	松尾 隆	古賀 康秀	
		20	出口 智弘	西嶋 慎二	赤星 和明	出口 智弘	西嶋 慎二	
		21	鍵山 裕	鍵山 裕	園田 知丈	鍵山 裕	宮崎 修	
		10		中島 信治 (薬師) (第1週)				
		13		循環器 内科医師		花野 貴幸		
神経内科	午前 8:20-11:30	6	高嶋 伸幹 (初診/予約制)	高嶋 伸幹 (再診/予約制)		高嶋 伸幹 (再診/予約制)		
	午後 13:00-15:30	6	高嶋 伸幹 (初診/予約制)					
小児科	午前 8:20-11:30	2	種吉 秀隆	種吉 秀隆	種吉 秀隆		種吉 秀隆	
	午後 14:30-16:00	2	種吉 秀隆	種吉 秀隆	種吉 秀隆		種吉 秀隆	
外科	午前 8:20-11:30	8	名嘉真 陽平	吉田 純	岡部 正之	兒玉 孝仁	良永 康雄	交代で1名
		9	三笠 圭太	名嘉真 陽平	吉田 純	良永 康雄	三笠 圭太	
		10			三好 修	三好 修		
整形外科	午前 8:20-11:00	1	亀川 史武	吉間 寛士	木下 栄	吉間 寛士	吉間 寛士	
		2	小田 大嘉	小田 大嘉	派遣医師 (第1,3週 手の外科外来) (第2週 肩関節外来)	派遣医師 (第3週)	亀川 史武	
		4	吉田 拓也	派遣医師	小田 大嘉	亀川 史武	木下 栄	
		5		吉田 拓也	派遣医師	木下 栄		
	午後 13:00-14:30	1		派遣医師			派遣医師 (第1,3,5週 脊椎・腎臓外来)	
脳神経外科	午前 8:20-11:30	12	中島 進	中島 進	中島 進	中島 進	中島 進	
		13						
	午後 13:00-16:00	12	中島 進	中島 進	中島 進	中島 進	中島 進	
		13	派遣医師		派遣医師			
皮膚科	午前 8:20-11:30	3	千葉 貴人	千葉 貴人	千葉 貴人	千葉 貴人	千葉 貴人	
		4	佐藤 清象	佐藤 清象	佐藤 清象	佐藤 清象	佐藤 清象	
泌尿器科	午前 8:20-11:30	2				派遣医師		
	午後 14:00-15:30 13:30-15:30	2	派遣医師					
		2		派遣医師		多田 勝 (第1,2,3,5週)		
眼科	午前 8:20-11:30	1	山下 美恵	山下 美恵	山下 美恵	山下 美恵 (第1,3,5週)	山下 美恵	
		2	佐藤 涉	佐藤 涉	派遣医師	佐藤 涉		
耳鼻咽喉科	午前 8:20-11:00	1		(新患) 派遣医師		(新患) 派遣医師	(新患) 派遣医師	
	午後 13:00-15:30	2	朝信 輝樹	朝信 輝樹	朝信 輝樹	朝信 輝樹	朝信 輝樹	
小児科	午前 8:20-11:30	1	末 浩司	末 浩司	末 浩司	末 浩司		

※医師の予定は、都合により変更があります。(ご不明な点は各科診療窓口へご確認ください。)

※休診日：土曜日午後・日曜日・祝日・12月29日～1月3日(年末・年始のため)

※面会時間：月～金曜日/13:00～19:00、土・日・祝日/11:00～19:00

職員募集

【薬剤師】雇用形態：正職員

応募資格：薬剤師免許取得予定の者で日当直勤務可能な者

※詳細は、0948-22-2980(内線2422)総務課宮崎までご連絡ください。

基本理念

“優しい心、深い知識、確かな技術”をもって、患者様本位のあたたかい医療を提供し、市民の皆様へ愛され、親しまれ、信頼される病院をめざします。



基本方針

- 1.すべてのスタッフによるチームケアおよび医療安全対策をより一層推進する。
- 2.地元医師会および他の医療機関との緊密な連携を保ち、市民が安心して受診できる医療体制づくりを進める。
- 3.救急医療から慢性疾患のフォローアップまで幅広い診療を実践できる体制を整える。
- 4.へき地医療支援病院として、医療過疎に悩む地域への医療支援を行う。
- 5.臨床研修指定病院として、地域医療をめざす医師のために質の高い基礎教育を行う。

公益社団法人 地域医療振興協会
Japan Association for Development of Community Medicine

飯塚市立病院

〒820-0088 飯塚市弁分633-1
TEL:0948-22-2980 FAX:0948-24-3812
HP:<http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/iizuka/html/>

